

第1章 目的と方法

1 調査の目的

本調査は、本区への誘客促進及び今後の観光ルート開発等に関する観光都市づくりの施策展開に資することを目的に、観光統計の整備と観光客のマーケティング分析を行い、今後の観光施策における基礎資料とするものである。

2 観光統計調査の実施方法

(1) 調査期間

本調査における観光入込客数は、「観光入込客統計に関する共通基準」（平成21年観光庁策定）及び前回の調査と同様に、「年度」ではなく「暦年」による観光入込客数等の推計を行った。そのため、調査の対象期間は、平成28年1月から平成28年12月までの1年間とした。

(2) 観光の定義

観光政策審議会の答申「今後の観光政策の基本的な方向について」（答申第39号 平成7年6月2日）では、『観光』の定義を『余暇時間の中で、日常生活圏を離れて行う様々な活動であって、触れ合い、学び、遊びということを目的とするもの』としている。

本調査では、前回の調査と整合させるために、観光行動の定義を「広義」「狭義」とした区分をせず、「ホスピタリティ産業に貢献するすべての非日常的行為」を『観光』と捉え、買い物や食事の他にも仕事のついで「仕事兼観光」も観光として扱うこととした。

そのため、調査の手法として、観光庁の「観光入込客統計に関する共通基準、調査要領」を踏まえ、目的行動による観光の「該当」「非該当」を区別する『行動型観光調査』によるアンケートを実施した。

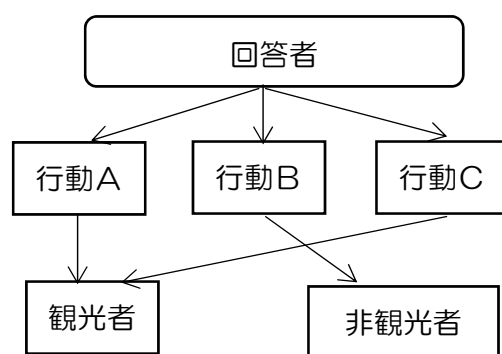


図 1-1 行動型観光調査

(3) 調査地区

本調査の対象地区として、前回調査と同様、「上野地区」「浅草地区」「谷中地区」「浅草橋地区」の4地区に大別し、調査を実施した。

(4) 調査の方法

観光客数等の推計においては、「観光入込客統計に関する共通基準」(平成21年観光庁策定)を基本として、各種統計資料や今回の調査で集計したデータをもとに、平成28年1月～同年12月の観光客数等の推計を行った。

また、来訪者へのパラメータ調査(アンケート調査)を実施することで、観光客の意向を把握し、マーケティング分析に必要な基礎データを収集した。

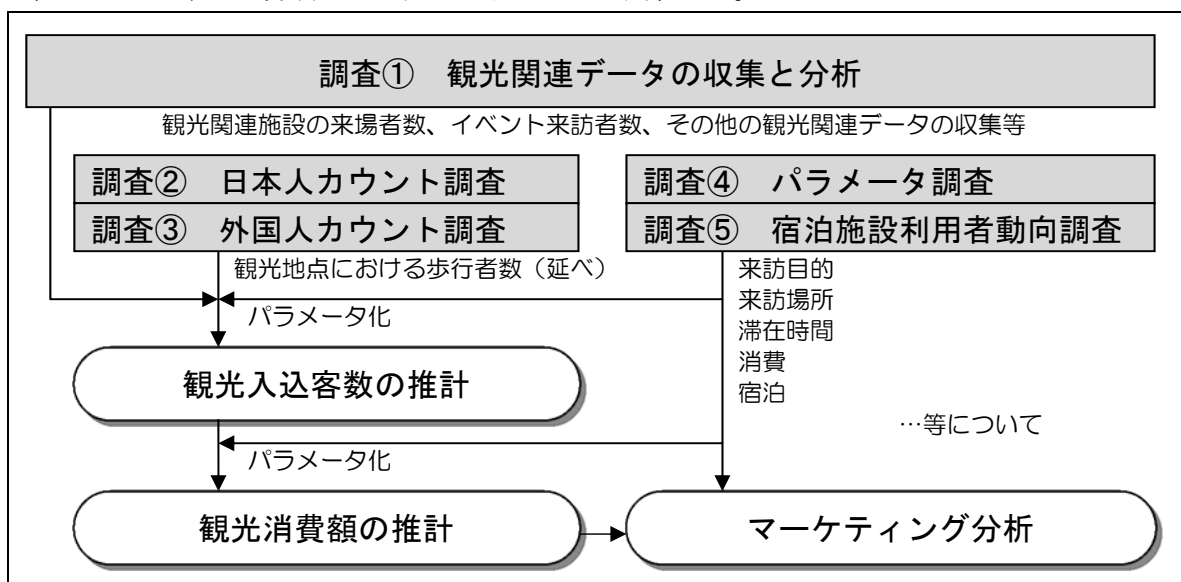


図 1-2 調査フロー

a. 調査① 観光関連データの収集と分析

観光関連施設の来場者数、イベント来訪者数、その他観光関連データを調査し、観光入込客数の推計やマーケティング分析を行った。

b. 調査② 日本人カウント調査

観光入込客数の推計を行うための基礎データとして、4地区15か所での歩行者数を計測した。(表1-1)

調査日は各地区でイベント等が行われてない日を選択し、平常時の歩行者カウント調査を実施した。

なお、調査地点、調査実施時期については、次の表のとおりである。

調査時間帯は、上野地区で10:00～18:00、浅草地区で9:00～17:00、谷中地区で9:00～17:00、浅草橋地区で9:00～17:00に実施した。

※上野地区については、通勤・通学客が多いことから、調査時間帯を1時間遅らせた。

表 1-1 歩行者カウント調査実施地点・時期（日本人・外国人）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
調査日	3月6日(日)	6月19日(日)	9月18日(日)	12月20日(火)
	3月16日(水)	6月21日(火)	9月28日(水)	12月23日(祝)
調査地点				
上野地区				
JR上野駅(公園口)	○	○	○	○
上野公園(袴腰)	○	○	○	○
ア×横(上野側)	○	○	○	○
ア×横(御徒町側)	○	○	○	○
浅草地区				
浅草寺(雷門前)	○	○	○	○
浅草寺(二天門前)	○	○	○	○
T×浅草駅出口	○	○	○	○
新仲見世商店街東側入口	○	○	○	○
吾妻橋西詰	○	○	○	○
谷中地区				
谷中ぎんざ入口	○	○	○	○
上野桜木交差点	○	○	○	○
東京メトロ根津駅付近	○	○	○	○
東京メトロ千駄木駅付近	○	○	○	○
よみせ通り北側入口	○	○	○	○
浅草橋地区				
JR浅草橋駅東口	○	○	○	○

c. 調査③ 外国人カウント調査

外国人観光入込客数等の推計を行うための基礎データとして、日本人カウント調査同様4地区15か所で歩行者数を計測した。

あわせて、上野公園（案内所前）、アメ横（上野側）、浅草寺（宝蔵門前）、谷中ぎんざ入口、JR浅草橋駅東口でヒアリングマップ（世界地図16ページ 図1-4）を用いながら、外国人居住国（圏域）をヒアリング等により確認した。（表1-2）

また、調査日は各地区でイベント等が行われてない日を選択し、平常時の歩行者カウント調査を実施した。

調査地点、調査実施時期については、表1-2のとおりであり、調査時間帯は日本人カウント調査と同様である。

表 1-2 外国人居住国（圏域）確認調査実施時期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
調査日	3月6日(日)	6月19日(日)	9月18日(日)	12月20日(火)
	3月16日(水)	6月21日(火)	9月28日(水)	12月23日(祝)
調査地点				
上野地区				
上野公園（案内所前）		○	○	○
アメ横（上野側）		○	○	○
浅草地区				
浅草寺（宝蔵門前）		○	○	○
谷中地区				
谷中ぎんざ入口		○	○	○
浅草橋地区				
JR浅草橋駅東口		○	○	○

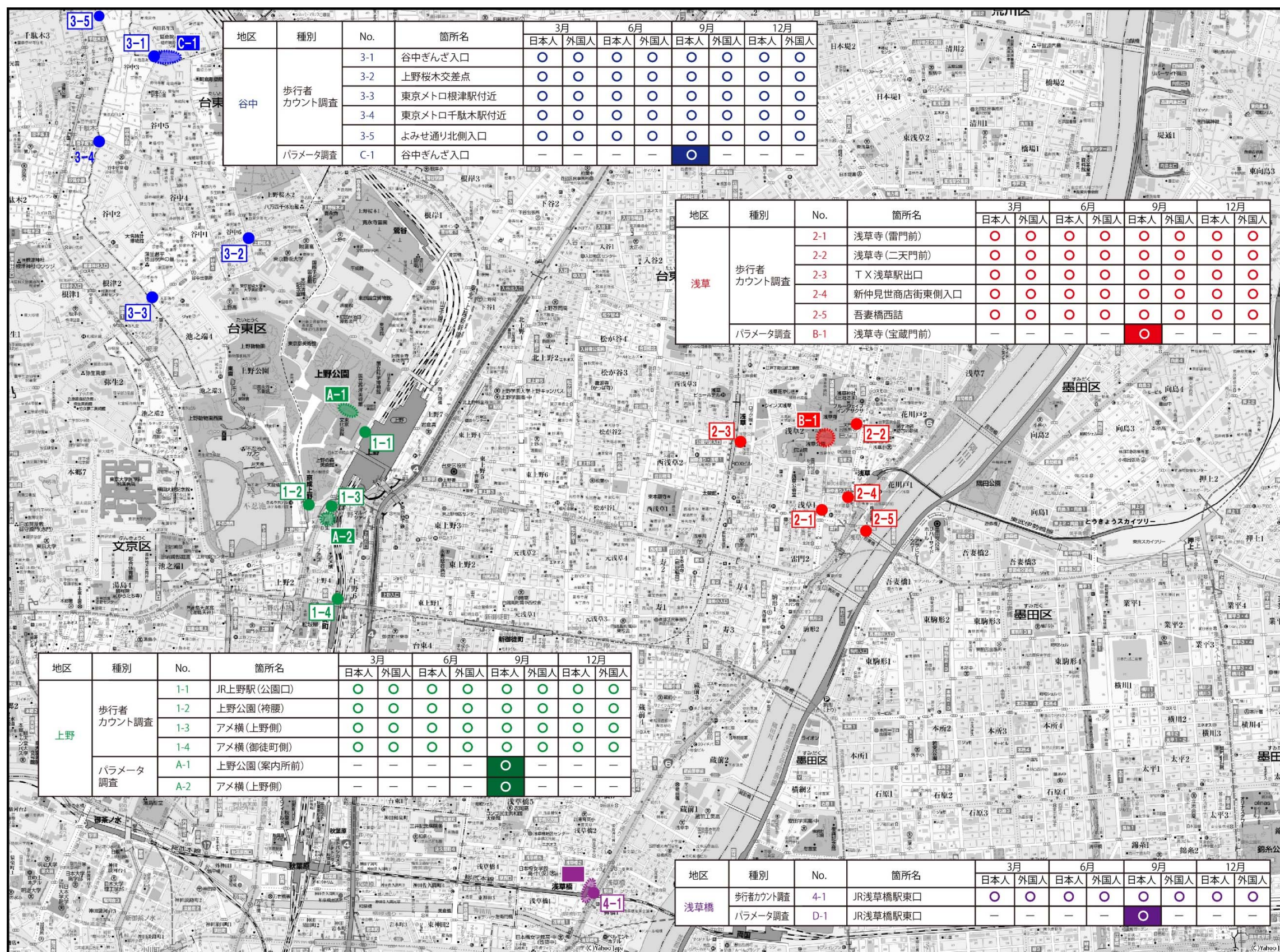


図 1-3 調査地点位置図

Q Where is the country of residence? / 거주국은 어디입니까? / 住址国在哪里? / 住址國在哪裡?

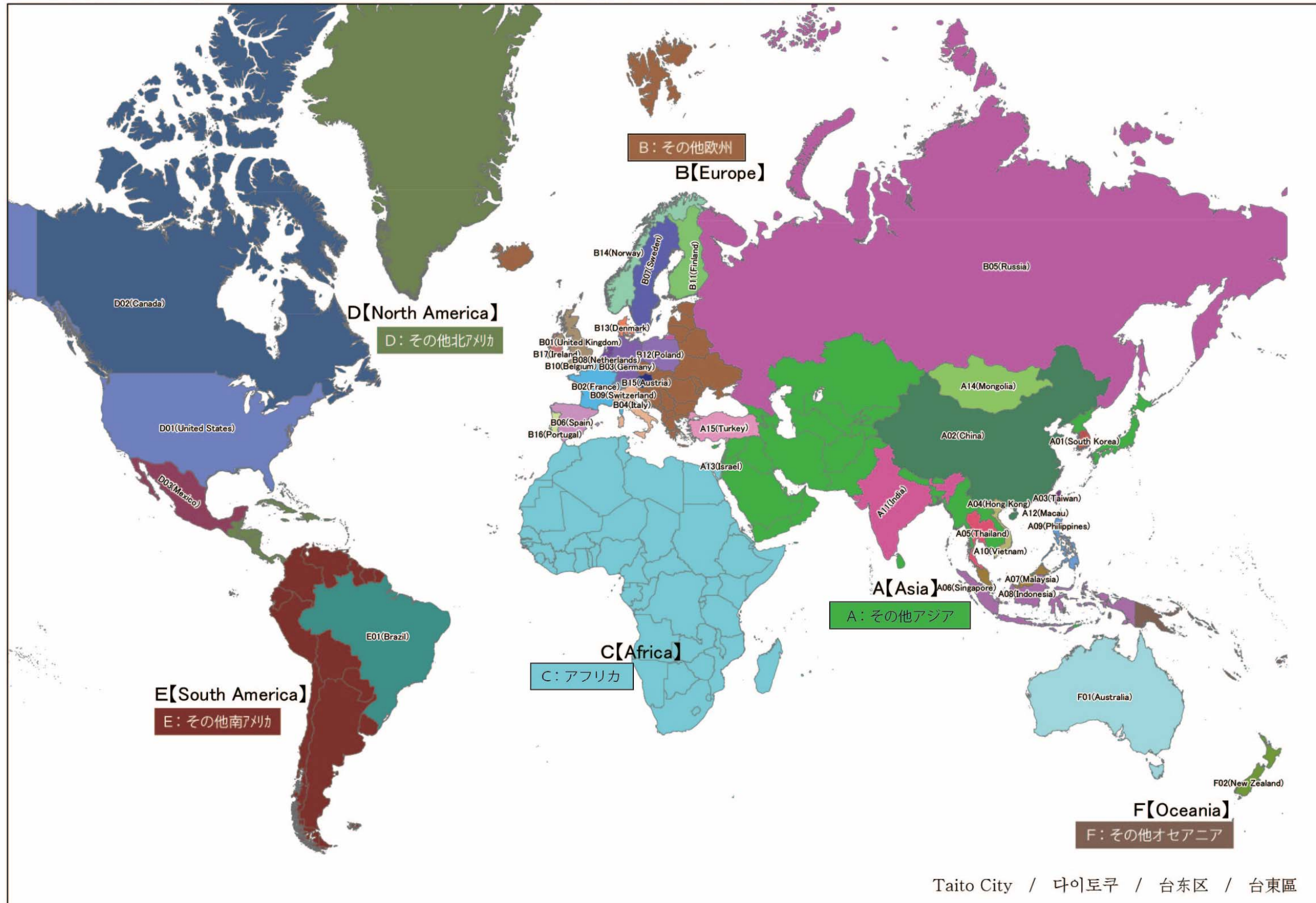


図 1-4 外国人居住国（圏域）確認調査用ヒアリングマップ

d. 調査④ パラメータ調査（来訪者アンケート調査）

観光入込客数の推計を行うためのパラメータを構築するため、歩行者カウント調査とあわせてパラメータ調査（アンケート調査）を4地区5か所で実施した。

調査では、来訪者に対してアンケート調査票への記入依頼又は聞き取りを行った。

調査地点、調査実施時期等については、下表のとおりであり、日本人453票のサンプルを得た。

表 1-3 パラメータ調査実施地点・時期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
調査日	—	—	9月18日(日) 9月28日(水)	—
調査地点				
上野地区				
上野公園（案内所前）			○	
アメ横（上野側）			○	
浅草地区				
浅草寺（宝蔵門前）			○	
谷中地区				
谷中ぎんざ入口			○	
浅草地区				
JR浅草橋駅東口			○	

※パラメータとは「変数」のことであり、本調査では来訪者アンケート調査等により任意の事象の割合を数値化することで推計根拠に用いている。また、少数回答地点の年間歩行者量については、前回調査を加味し、推計根拠に用いている。



図 1-5 アンケート調査の様子

e. 調査⑤ 宿泊施設利用者動向調査

宿泊施設利用者の実態を把握するため、区内の旅館・ホテルに宿泊者へのアンケート調査票の配布・回収にご協力をいただいた。あわせて、旅館・ホテルに対して宿泊者数等の調査を実施した。

(5) 観光入込客数の推計方法

本調査での観光入込客数の推計は、観光庁の「観光入込客統計に関する共通基準」により「歩行者カウント調査による推計」を基本とする。これは、本区の観光特性を踏まえ、行動型観光調査を基本としていることや、「鉄道駅における年間降客数に基づく推計」又は「文化・観光施設の年間来場者数に基づく推計」による手法では、各地区の観光資源等の違いや偏りにより、推計の誤差が生じるためである。

なお、各地区の年間観光入込客数及び台東区の観光客数の推計は第2章を参照されたい。